

漢方 小児科 婦人科 内科 産科
浮田医院
だより



第 96 号
医療法人 せゝらぎ 会
発行所：浮田医院
〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28
TEL 0740-32-3751
FAX 0740-32-3795
ホームページ：http://www.ukita.gr.jp
e-mail:kanpou@ukita.gr.jp
発行日：2012年8月5日(日)
発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ(96)

膀胱炎

〔前回より続き〕客室の床の間にかつての河井醉茗、北原白秋、西条八十らの来訪を知らせる張り紙があった。明治三十九年詩壇を去った清白だが、孤高の詩人であり僻地医師であったが故に友人達の来訪は、彼の心を弾ませたに違いない。と同時に、かつての詩への想いが沸沸と湧きあがってきたことだろう。詩人はいくつになっても詩人だったはずであり、僻地での医療を続ける清白にとって支えの一つであったろう。

若き日の清白が志摩の漁村の風景を詠った「安乗の稚児」の碑が、安乗公園入口に碑が建てられている。漂泊の詩人と言われた清白を躍如とさせる旅の旅情を含んでいる。
志摩の果安乗の小村
早手風岩をどよもし
柳道木々を根こじて
虚空飛ぶ断れの細葉
水底の泥を逆上げ
かきにごす海の病



あさだ そうはく 浅田 宗伯

そゝり立つ波の大鋸
過げとこそ船をまつらめ
とある家に飯蒸かへり
男もあらず女も出で行き
稚児ひとり小籠に坐り
ほゝゑみて海に對へり
荒壁の小家一村
反響する心と心
稚児ひとり恐怖をしらず
ほゝゑみて海に對へり
いみじくも貴き景色



伊良子清白の診察室(鳥羽)

今もなほ胸にぞ跳る
少くして人と行きたる
志摩のはて安乗の小村
このような詩情を感じうる心のゆとりを持って毎日を過ごせたらと思うが、せめて一カ月に一度でもいいから、ゆつたりと流れる時間の中で自分の周りを見渡し、童の様な自由で無心な目を持ち続けたい。
帰りにもう一度振り返り見た旧宅は、私にとって決して貧相に見えなかった。患者、家族、詩、友人、漁村の風景など多くのものに支えられ、詩への想いを断ち切り本来の使命である医業に帰り生き続けたこの旧宅、この旧宅そのものが清白その人の生き方のように思えた。
膀胱の疾患(頻尿)のお話です。
排尿痛、頻尿、残尿感、尿失禁などの症状がある場合、膀胱炎、過活動膀胱、間質性膀胱炎、結石、前立腺炎、腫瘍などが考えられます。膀胱炎は排尿痛、頻尿、残尿感が特徴で、尿検査で診断します。過活動膀胱は頻尿(一日八回以上排尿、夜間一回以上排尿)と尿漏れが特徴で、神経因性膀胱(脳脊髄障害、脳梗塞、変性疾患、腫瘍など)と非神経因性膀胱(下部尿路閉塞、加齢、骨盤底の脆弱化など)に分類されます。膀胱部の痛みや頻尿や





尿意切迫感を伴い、治療に抵抗すれば、間質性膀胱炎(膀胱部痛症候群)が考えられます。西洋薬(抗菌剤、抗ムスカリン剤、抗鬱剤など)だけでなく、漢方薬も併用すれば治療効果があります。実例に移ります。

三十四歳女性、膀胱炎、昨日血尿、頻尿、排尿痛、発熱三八℃、食欲低下(むかつき)、便秘(三日に一回)。顔色は紅潮、腹は硬く、胸脇苦満、心下痞硬、舌紅紫色、乾薄黄苔、舌下静脈怒脹、脈は浮、数、滑。そこで、四物湯合猪苓湯、クラビットを処方。補液五〇〇ml実施。翌日解熱、肉眼的血尿、排尿痛や頻尿なくなった。一週間後治療。

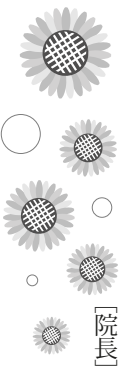
三十二歳女性、身長一五八cm、体重五〇kg、夏ばて、梅雨に入り(六月)、体のだるさ、食欲低下、微熱、肩こり、頭痛。軟便。顔色不良、脈浮弱数、舌淡紅色、乾薄白苔、舌下静脈細い。腹は柔らかく、胸脇苦満と胃内停水(十)、臍上下悸(十)。そこで、補中益気湯と生脈散を処方。二週間後頭痛や微熱などの症状改善。四週間後(七月)、八週間後(八月)、十二週間後(九月)、時々体がだるくなるが例年と違い寝込むことはなかった。十六週間後(一〇月)廃薬。

十九歳男性、アレルギー性鼻炎(通年)、食欲良好、便通良好、二キビ、喉痛(二年五回)、手足に発汗傾向。顔色良

好、腹部緊張強い、胸脇苦満(中程度)、心下痞硬、臍上悸、両側臍傍抵抗圧痛(十)、脈は弦細、浮。舌は濃紅色、薄乾黄白苔。そこで、荊芥連翹湯を処方。三ヶ月後、鼻炎症状、二キビ減少。一年月後、喉痛、鼻炎、二キビなど改善。手足の発汗傾向は不変。二年後、継続中。三十七歳女性、身長一五九cm、体重六十五kg、眼精疲労、目の疲れや乾燥やすみや重だるさやまぶしさや涙や充血や眼瞼痙攣、頭痛、めまい、動悸、吐き気、倦怠感を自覚。眼科で、眼圧、眼底、視野、眼球運動、メガネなどの検査に異常なし。顔は紅潮、腹の緊張は普通、右胸脇苦満、心下痞硬、臍上悸、脈は浮弦数。舌は淡紅色、乾黄色苔。そこで、桂枝、茯苓、白朮、蒼朮、甘草、車前子、細辛、黄連を処方。一ヶ月後、眼の症状(疲れや乾燥)やすみや重だるさやまぶしさや涙や充血、動悸、吐き気など軽減。三ヶ月後、倦怠感と眼瞼痙攣以外の症状は消失。そこで、黄耆、当归、人參、白朮、蒼朮、柴胡、升麻、大棗、陳皮、甘草、生姜、麦門冬、五味子を処方。六ヶ月後、症状消失。再発予防のため、更に六ヶ月服用して廃薬。

次回は、めまい II です。

「院長」



夏 ば て

元々、胃腸の弱い方(脾虚)、イライラする方(肝実)、上半身に比べ下半身の弱い方(腎虚)。暑さや湿気や冷房で、食欲、発汗、排尿、排便が不調(自律神経バランスの崩れ)になり、疲れ、だるさ、むくみ、意欲低下、不眠、微熱の続く方。盛夏、晩夏だけでなく、気候の変化が激しい梅雨や初夏にも起こります。漢方薬をお試し下さい。



アレルギー性鼻炎

1～5月頃、8～10月頃の季節に発症する人(季節性 花粉)と年中症状のある人(通年性)。ほこり、動物の毛、気温、感情の変化)がおられます。鼻水、鼻づまり、クシャミの激しい時の漢方薬(発作用)と体質改善の漢方薬があります。また、血液でアレルギー検査(花粉、動物の毛、ダニ、ほこり、食べ物など)もできます。



眼 精 疲 勞

眼の疲労、視力低下、複視、眼痛、頭痛、肩こり、悪心、嘔吐などの症状を自覚します。睡眠をとっても症状が回復しません。眼科疾患(緑内障、角膜炎、結膜炎、遠視、乱視、老眼、シェーグレン症候群)、副鼻腔炎、更年期障害、うつ病などを見逃さないことが大切で、気血水を調え、五臓を調整する漢方薬が有効です。



当院の漢方治療

剤型

- ・エキス漢方薬：**錠剤タイプ**の漢方薬と**顆粒タイプ**の漢方薬があります。
 - ・漢方煎じ薬：**良質の生薬**を組み合わせた漢方薬。**25～30分**煮て作ります。
- 当院の**顆粒タイプ**の漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、**冷蔵庫(冷凍庫)**で保管して下さい。
- 漢方薬が固まりやすい場合、当院の**漢方薬専用容器** (300円) をご利用下さい。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。

- ・漢方薬のよく効く疾患
アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性膵炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺炎、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患
高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤（顆粒あるいは錠剤）を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、膣分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

予約－漢方外来

土曜日の午後、予約・漢方外来があります(予約制、2回/月)。
午後2時～午後3時30分(1人15分)
日程は掲示板やホームページでご確認ください。(電話予約可)

骨量測定(4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

アトピー軟膏 健康食品(グルコサミン、コンドロイチン、DHA)

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏・のどあめです。
・紫雲膏 太乙膏・アガリクス・メシマコブ
・靈芝・AHCC・サメ軟骨・快步楽・のどアメ(板藍根、ハーブ)

マタニティグッズ・サプリメント

トコちゃんベルト
妊娠初期から産後までの骨盤ケアに効果的！腰痛・早産予防
母乳に良いもの
DHA…妊娠後期から授乳期のママに！
葉酸+鉄…女性に不足しがちな葉酸・鉄分の補給に！

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、**保険証の変更**は、早急に受付に連絡して下さい。

在宅療養の支援とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、**計画的に診療と治療**を行います。往診と違い、**定期的に(月に2～12回)訪問診療**を行い、患者さんの健康を管理します。
在宅療養の支援についてお気軽にご相談下さい。

スーパーライザー(神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス・・・などの治療に利用しています。

皮内針 針管付き鍼

皮内針の長さは1～2mm、針管付き鍼の長さは30mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、膝関節痛、腰痛、足の痛、筋肉痛、頭痛・・・の治に適しています。

予防接種 ワクチン接種

子宮頸癌予防ワクチン、インフルエンザ(季節型、新型)、BCG、三種混合(DPT)、麻しん・風しん(MR)、日本脳炎、水ぼうそう、ロタウイルス、おたふくかぜ、Hib(インフルエンザ菌b型)、肺炎球菌ワクチン(小児用 プレベナー)(高齢者)、その他

外来診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○	○	○	○	○	○	—
正午～午後0時30分	—	—	産後健診(予約可)	—	産後健診(予約可)	—	—
午後2:00～午後3:30	母乳相談 (予約)(有料)	母乳相談 (予約)(有料)	母乳相談 (予約)(有料)	母乳相談 (予約)(有料)	母乳相談 (予約)(有料)	予約-漢方外来 (月2回)	—
午後2:00～午後4:00		(手術)	(在宅)	—	(在宅)	—	—
午後5:30～午後7:30	○	—	○	—	○	—	—

- ◇漢方外来 (月～土): 内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。
- ◇予約-漢方外来 午後2時～2時15分、2時15分～2時30分、2時30分～2時45分、2時45分～3時、(2回/月 土曜日) 3時～3時15分、3時15分～3時30分、3時30分～3時45分 電話予約可(日程はホームページ、掲示板参照)
- ◇更年期外来(月～土): 更年期の方、思春期の方(女性、男性 どなたでもお越し下さい)
- ◇不妊 外来(月～土): 赤ちゃんの欲しい方 (ご夫婦でもお越しになれます)
- ◇妊婦 外来(月～土): 妊婦健診、妊娠中の方
- ◇産後 健診(水、金曜日)(有料): 正午～午後0時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月) 産後健診
- ◇母乳 相談(月～金曜日)(有料): 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 乳房マッサージ 電話予約可

前期と中期-母親教室 13:30～15:30

9/1(土)、10/6(土)

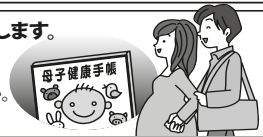
後期 - 母親教室 13:30～15:30

8/11(土)、8/25(土)、9/8(土)、9/19(水)、9/29(土)

母親教室のご案内

場所: 当院別棟 多目的ルーム 申込方法: 申込ノートでご予約お願いします。

立会分娩ご希望の方は特にご参加をお薦めします。(申込ノートにお名前を記入をお願いします。母親教室では「母と子のてびき」にそって、お話をすすめていきます。ご夫婦での参加も多くご主人様もお気軽にご参加ください。参加時には「母と子のてびき」「母子手帳」を忘れずにお持ち下さい。



ママヨガのご案内

当院では以前よりマタニティヨガを実施し多くの方から支持を得て参りましたが、産後のママさんからのご要望により、ママヨガ(産後ママ)を始めることになりました。慣れない子育て環境で少しでも「ママのリラクゼーション」を目的としています。お一人でもお子様とでも自由に参加して頂き、ママヨガでのママ友と情報を共有してリラックスした楽しい一時をお過ごしください。

マタニティヨガ 14:00-15:30

8/8(水)、18(土)、22(水)
9/5(水)、15(土)、26(水)

ママヨガ 16:00-17:30

8/18(土)、9/15(土)



マタニティヨガ ★土曜日開催のお知らせ★

これまでマタニティヨガは各週水曜日での開催でしたが土曜日を希望される方がとても多く、月に一度の予定でマタニティヨガを行っております。お勤めの方もふるってご参加ください。(各週水曜日でも好評開催中)

あだた そはく 浅田宗伯 (1815～1894)

中西深齋に医を、頼山陽に文を学ぶ、幕末には御目見医師としてコレラや麻疹に腕を振るい、維新後は皇室の侍医として漢方薬を処方した。漢方界の巨匠として、石黒忠恵らと対峙した。著書は「傷寒弁要」「雑病弁要」「傷寒雑病弁証」「傷寒翼方」「雑病翼方」「脈法私言」「古方業議」「傷寒論議」「雑病論議」「橘窓書影」「皇国名医伝」「先哲話話」「勿誤薬室方函口訣」など。「勿誤薬室口訣」は私の愛用の書で、その処方の適応症について先人の経験を踏まえて自説を述べている。



分娩予約

妊娠20週までに受付で予約して下さい。ご予約には、**分娩予約カード**が必要です。予約された方には、**母と子のてびき**、**入院誓約書**、**直接支払い制度合意書**をお渡します。

4D外来(助産師)

助産師が4Dを実施します(およそ30分)。お腹の赤ちゃんの様子が映し出されます。ご希望の方は予約してください。火曜日と木曜日(掲示をご覧ください)

浮田医院ホームページ (<http://www.ukita.gr.jp>)

トップページ(お知らせの欄、診療日程カレンダー)
産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)
漢方治療のページ(外来、漢方治療の範囲)
老人医療のページ(在宅療養の支援)
健康のページ(健診、プライマルチェック、予防接種)
当院の施設案内、当院への交通(車、JR)

産後相談 母乳相談(助産師)

産後相談と母乳相談(有料)(乳房マッサージ)をしています。午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分。日程は掲示板やホームページでお確かめください。(電話予約可)

正常分娩の入院日数

正常分娩の場合入院日を含めて入院期間は5日間です。初産婦の方、経産婦の方も同じ入院日数です。分娩希望の方はすべて受け付けています。

里帰り出産を予定されている方へ

当院は里帰り出産を受付けています。妊娠23～25週(母体と赤ちゃんの状態をチェックします)に1度診察においでください。当院での妊婦健診は妊娠34週から受けてください。

赤ちゃん健診

産後健診と1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。日時: 毎週水、金曜日 正午～午後0時30分(有料)

入院食(手作り)

心のごもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー……など、絶えず工夫し研究しています。

産科医療補償制度

分娩により重度の脳性麻痺となった児及びその家族の経済的負担を補償し、原因分析と再発防止策を講ずるための制度。当院で通院方に、登録証を発行しています(妊娠16～22週)。詳細は受付でお聞きください。